



JRCトレセンで中学・高校生リーダーを養成!

学校や地域でリーダーシップを発揮できる児童・生徒を育成する「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」。「JRCトレセン」とも呼ばれています。

JRCトレセンとは、「やさしさ」や「思いやりの心」を育み、自ら主体的に行動することができるよう集団生活を通してリーダーシップを学ぶ体験学習の場です。

ここでは指導者からの指示や号令、チャイムはありません。随時更新される掲示板の

情報と時計を確認し、注意深い生活を送ります。

今年は、中学校の部を7月27日・28日、高校の部を8月7日・8日に開催。中学・高校のJRCトレセンは約4年振りの対面開催となりました。

JRCメンバーは、プログラムを通して赤十字の成り立ちを学んだり、青少年赤十字の「気づき・考え・実行する」という態度目標を身につけました。また、竹ひごタワーを用いたワークショップでは、指揮を執る人だけがリーダーではなく、

互いの違いを認め合いながら、それぞれが持つ力(リーダー性)を発揮し、協力し合うことの大切さを学びました。

中学生は、青少年赤十字のボランティア活動の一つである「1円玉募金」で支援している

国についてより知識を深めるため、各自が準備してきた資料をもとに、人々の暮らしやその国が抱える問題などについてまとめ、発表を行いました。高校生は、避難所運営ゲーム「HUG(ハグ)」を使って避難者が次々にやってきた状況を

想定。積極的に意見を出し合いながら、皆が過ごしやすい避難所を考えました。

そのほか、災害用炊飯袋「ハ

イゼックス」を使った炊き出しや赤十字の救護倉庫、災害救護サポートセンターの見学を実施。新しい知識や体験からメンバーの防災力は一段と向上したようでした。

参加された皆さんがJRCトレセンで得た新しい知識や技術を活用し、学校や地域のリーダーとして活躍してくれることと期待しています。



●プログラム前に掲示板を確認するメンバー



●ワークショップを通して、共助の心を学びます



●HUGで避難所内の配置を考えるメンバー



●ハイゼックスを災害用移動炊飯器に投入するメンバー

●参加したJRCメンバーの感想

炊き出しや避難場所での活動の仕方を学び、災害時の対応や自分たちにできることがあることが分かった。

リーダーシップは誰もが持つ力だということが分かった。周りを見ることが出来るリーダーを目指したい。

初めは緊張していたけど、周りから積極的に話しかけてもらえて嬉しかった。今後は、環境が変わっても自分から行動したい。

周りを見て自分ができていることを探し、自ら実行する力が培われた。

コロナ禍でもみんな一緒に阿波踊り

徳島赤十字ひのみね医療療育センターは、心身障がい児者の治療や生活支援などを行う病院機能を持つ福祉施設です。

コロナ感染拡大から3年が経過していますが、施設内では利用児者様に楽しく生活を送ってもらうため、感染防止対策を行いながらそれぞれの病棟で季節ごとのイベントを企画しています。

全体行事として一体感を共有できるように、同じゲームをそれぞれの病棟で行い得点を競い合ったり、全館放送でお囃子を流し、阿波踊りを同時に踊りました。阿波踊り経験者である職員が衣装を着て踊りだすと、自然に笑顔になり両手をあげて「やっとなー!」、一緒に踊っていました。

これからも、利用児者様や地域の方々に、沢山の笑顔や大きな笑い声があふれるイベントを提供していきます。



●阿波踊りで笑顔あふれる利用児者の皆さん



徳島赤十字ひのみね医療療育センターのホームページはこちら

「からだにやさしい治療」をご紹介します

徳島赤十字病院で取り組んでいる負担の少ない治療について、一般の方にも分かりやすくお伝えするため、「からだにやさしい治療センター」のホームページを開設しました。

ホームページでは内視鏡治療やロボット手術、カテーテル治療、小切開

手術から術後短期間で回復しやすい麻酔方法まで、診療科別・疾患別に検索できるようになっています。

これらの治療は一般的な手術に比べ、痛みやからだへの負担が少なく、入院日数も短縮できます。このホームページを参考に、当院での治療を考えていただければ幸いです。

当院では、個々の患者さまにとって最善の方法をチームで検討し、できる限りからだにやさしい治療を提供することを目標にしています。



特設ページをチェック!